

平成31(2019)年度 江戸川区立葛西小学校 学校関係者評価 中間評価用報告書

学校教育目標	○心ゆたかな子ども ○よく考える子ども ○最後までやり抜く子ども ○健康な子ども	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	保護者にとって、子どもを通わせてよかった、と思える学校 「確かな学力」「豊かな心」「健康な体」をバランスよく備えた子ども 人権尊重の精神に富み、自身の職務に専念し、児童・保護者から信頼される教師
前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果> 全教員が授業力向上に向け、研修・研究に励み、授業実践に向かったことで、児童が学習規律を確立し落ち着いて学びに向かう姿勢が育った。 いじめに対する未然防止・早期発見・早期対応を全教員共通理解のもと実践し、児童が安心して学校生活を送ることが出来た。 <課題> 併設型小中学校の開設を生かした、教育活動の計画・実行。 児童の運動能力の維持及び取り組みの工夫。		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		年度末に向けた改善策
					取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
特色ある教育の展開	小中連携教育の推進	「小中連携教育構想」及び「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	授業参観・情報交換 小中担当者の情報交換 児童生徒の活動計画と推進	始業式、修了式の合同実施 避難訓練の合同実施…年3回以上 児童・生徒の交流…3回以上	B	B	○中学校研究授業への参観、中学生の読み語り部の小学校での活動、小中連携担当の情報交換実施 ○始業式、終業式、避難訓練1回合同で実施。	B	従来の型にとられない「葛西小・中学校」独自の連携に期待する。	3学期に向けて、中学校英語科教員による、外国語への乗り入れ授業を計画し、実行していく。
	国際理解教育の推進	日本語学級との交流活動による国際理解の醸成とグローバルな視野を持つ児童の育成	授業参観…学校公開時(保護者、教員) 国際理解教室での児童同士の交流 教室のタブレットPCの活用…週1回以上 ICT校内研修会の実施…年3回 eライブラリー補習…3年以上2回	日本語通級児童担任の参観…学期1回 理解教室の感想文…全児童	B	C	○日本語学級の学校公開実施。 ●通常の授業参観は担任が実施。 ●国際理解教室に向けて、通級児童以外の児童の意識の醸成。	B	日本語学級をもつ利点を、更に伸ばした取り組みに期待する。	国際理解教室を活用し、通級児童と葛西小の児童の、意見の交換の場を設定する。
教員の資質向上	教員研修の充実	ICTアシスタントによる校内研修の実施によるICTを活用した教員の授業力の向上	ICT校内研修会の実施…年3回 eライブラリー補習…3年以上2回	校内研や学校公開で活用…全学年 ICT活用できる児童…低3割、中6割、高8割	A	B	○校内研修、補習授業は予定通りの実施。 ○タブレットの活用は全学年積極的な活用。	B	研修等で、活用を進め、今後の取り組みをさらに進めてほしい。	推進教諭の授業公開を委嘱し、活用を進める
	特別支援教育の推進	校内委員会の活性化を図ることなどによる指導・支援の充実	生活指導部とタイアップした月1回以上の特別支援教育委員会開催 コーディネーターによる伝達講習実施 ユニバーサルデザインを考慮した教室環境整備…通年	保護者アンケートで肯定的評価8割以上	B	B	○特別支援委員会は適宜開催し、情報共有の機会が増加。 ○教室環境は、学年統一して配慮。 ●インクルーシブ教育に対しての保護者の要求への組織的な対応。	B	一般の保護者の方々が、インクルーシブ教育等の理解が深まる取り組みの、工夫や改善を期待	校内特別支援研修会の実施により、教員の理解を深める。SCの校内巡視による、児童の個別指導に活用
	巡回指導との連携	巡回指導の活用と巡回指導教員との報・連・相	障害特性に応じた個別指導・在籍学級における担任と連携した集団の中での支援…通年	巡回指導教員による研修会の開催…1回以上 指導記録の共有…毎回	A	B	○巡回指導教員との日々の密な連携の実施。	B	巡回指導における、個別の学習は、困り感のある子供にとって、意欲をそそぎたい。	巡回指導員との情報交換を更に密にし、プラスの面を共有する。
いきいきと学ぶ教育の充実	確かな学力の向上	「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上	放課後補習授業…年35回以上 サマースクールの実施 全教員の授業公開…年1回以上	漢字コンクール…9割以上合格85%以上 都学力調査…D層25%以下	A	B	○放課後補習教室、サマースクールの完全実施。 ○全教員の授業公開は年1回以上達成。	B	地道に粘り強く指導を続けてほしい取り組みである。	成績上位の児童への補習も今後は視野に入れる。
	読書科の更なる充実	学校図書館の整備・活用の推進や探究的な学習の充実	図書館での読書活動…月1回以上 図書館活用調べる学習実施…高学年月1回以上	調べる学習参加…50人以上 年間読破…低50 中40 高30	A	A	○低学年での読書活動は月3回以上実施。 ○調べる学習相談会は夏季休業中にも実施。参加50人以上達成。	A	広く新しく、蔵書も多い図書館の活用を、学校でも工夫してほしい。	夏季休業中の、調べる学習に関する勉強のような取り組みを工夫
	体力の向上	体育の授業や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上	体育の時間の持久走…月1回 休み時間の運動遊びの実施…全学年	持久走大会の記録…各学年前年度よりもアップ	B	B	○運動遊びは全学年実施。 ○持久走は月1回実施。 ●教室から外に出ない児童をなくす。	B	校庭のない中、先生方の尽力に感謝している。整備後に期待する。	今後、持久走の確実な実施をする。
	オリパラ教育の推進	「オリンピック・パラリンピックレガシー創造プラン」に基づく取組やオリパラコーナーの充実	パラリストを招聘した体験学習…年3回以上 オリパラコーナーの充実…通年 ボランティア活動…4年 挨拶運動…年3回	体験後の児童全員の肯定的な感想 オリパラ読本を活用した授業…4, 5, 6年 全クラス実施 オリパラコーナーの全学年の活用 図書館「オリパラ図書」の活用…全クラス	C	C	○1学期の挨拶運動は実施。 ○思いやり活動の実施。 ●体験活動やボランティア活動は未実施。 ●オリパラコーナーの未設置箇所の充実。	B	挨拶は礼儀の基本ととらえ、継続的な指導をお願いしたい。ボランティア活動はぜひ地域のためにも実施してほしい。	中学生と共に活動する挨拶運動の実施の推進。オリパラコーナーを充実させる。
	外国語教育の推進	授業力の向上とALTの効果的な活用	給食、休憩等ALTとの交流…通年	ALT作成教材及び視聴覚教材や電子黒板等ICTの活用…毎時間	A	A	○ALTとの交流は適切に実施。 ○視覚教材を活用した授業は全クラス実施。	A	これからの世の中は、英語力ICT活用力はさらに必要となる。計画的な実施を願う。	英語の教材の整理。児童のICT活用能力を高め興味ある授業を行う。
健全育成の充実	いじめ・不登校等の対応	いじめ・不登校に応じた未然防止と早期対応に関する対応の充実	生活指導朝会…毎週 ケース会議…随時	いじめ不登校早期発見解決 いじめ0・不登校 0	A	A	○教員同士の情報交換、ケース会議等は、適宜実施。 ○不登校児は0。 ●いじめ63件を認知。解決済み。	A	いじめは早期対応が必要だと聞いている、先生方の情報共有による、組織的な対応をお願いする。	全教職員が情報交換を常に行い、いじめの未然防止に努める。欠席が続く児童との連絡を絶やさない。